

令和6年度第5回蒲郡市子ども・子育て会議 議事録

日 時	令和7年3月3日(月) 午前10時から正午まで
場 所	蒲郡市役所本館2階 201会議室
出席者	(委員) 14名出席 ※別紙出席者名簿のとおり (事務局) 子育て支援課: 次長、主幹、課長補佐、主事
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度第5回蒲郡市子ども・子育て会議 次第 ・ 蒲郡市子ども・子育て会議 委員名簿 ・ 令和6年度第5回蒲郡市子ども・子育て会議 席次表 ・ 令和6年度第4回蒲郡市子ども・子育て会議 議事録 ・ 「蒲郡市こども総合計画」表紙デザイン審査会結果 ・ 「蒲郡市こども総合計画」表紙デザイン応募作品一覧 ・ 蒲郡市こども総合計画(本編) ・ 蒲郡市こども総合計画(概要版) ・ 蒲郡市こども総合計画(こども概要版) ・ 蒲郡市特定教育・保育施設利用定員 ・ 令和7年度蒲郡市子ども・子育て会議の日程 ・ 子育てコンシェルジュ便りNo. 50

議事: (進行) 事務局: 長沼こども健康部子育て支援課こども政策推進室長

- 代理出席 健康推進課 係長 酒井由香里
- 欠席者 蒲郡あさひこ幼稚園 理事長 牧原泰吾
蒲郡あさひこ幼稚園父母の会 代表 伊藤和恵
蒲郡市小中学校 PTA 連絡協議会代表 加藤あゆみ
蒲郡市こども家庭センター センター長 坂口知子
- 資料の確認

1 会長あいさつ

(稲葉会長) 委員の皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、またお足元の悪い中、蒲郡子ども・子育て会議にご出席いただきありがとうございます。先週から寒さも和らぎ、少しずつ春の訪れを感じる中、こどもの進級が近づくにつれ、1年間はあるという間だなあと思うとともに、こどもたちの成長に驚きと喜びを感じる毎日でございます。さて、本日は、今年最後の会議であるとともに、策定を進めて参りました「こども総合計画」の完成に向けて、最終検討となります。こどもや若者を取り巻く環境は日々変化しておりますが、この計画が安心して子育てをすることができ、こどもの笑顔が輝き、幸せに暮らせるまちづくりに繋がる計画にしていきたいと思っております。本日も委員の皆様からは、忌憚のないご意見やご提案いただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

2 議題

(1) 令和6年度第4回蒲郡市子ども・子育て会議 議事録について

修正点等

ご意見なし

(2) 蒲郡市こども総合計画について

(事務局 長沼から説明)

質疑応答

(稲葉会長) 蒲郡市こども総合計画について、委員の皆様、何かご意見ご質問はございますか？
河合委員、いかがでしょうか。

(河合委員) 膨大な資料でなかなかこれということがチョイスしにくいんですけども、印象としてとても明るく、虹色というのは子どもたちにとっても、人気のある色でして、良い絵を選択することができたことと、応募がこんなにいらっしやったことが心強く思いました。大人だけではなく子どもたちにも関心が、その分広がっているのかなあというふうに思います。たくさんのこのデータと、それから今私たちがやろうとしていることが、文章もしくは絵、それから色分けしてとても見やすく簡潔にまとめていただいているように思うんですね。ただこれをぱっと渡されて、どこまで読み解けるかというとなかなか難しいので、やはりこれに合わせて具体的な現場でのお知らせとか、またその世代の方々へのアピールというものは、今後も欠かせない活動なのかなというふうに感じております。

(稲葉会長) 表紙のコンテストなどに関して素敵なコメントありがとうございます。

(三浦委員) こどもの概要版に2次元コードがあって、内容を見れるよみたいなご案内をいれていただいているんですけども、普通の概要版と本編の方にはこういったものが…本編はいらぬのかなという気もしますけれども、もしかしたら、子ども用のページに誘導してもらえるのかなとちょっと思ったのと、先ほど本編の方で、11ページで訂正があったというお話がありまして、グラフのところです。令和1年になっていますがこれは元年度なのかどうか、書き方がちょっと気になったので、この2点教えていただければと思います。

(事務局高橋) 全部載っているページへの案内なので、他のところにも2次元コードを入れるようにします。あと、令和の元年なのか1年なのかは、ちょっと全体的に確認したいと思います。

(長瀬委員) 素敵な絵で、良い表紙ができたなと思います。本当に膨大な資料を作り上げられて、それぞれちょっと中身を検証する間もないんですけども、蒲郡市が本当に子育てに力を入れるというところの話ですから、姿勢がよく出てるかなという、こういうふうに思いますので、やはり人口減、蒲郡市も本当に人口が少しずつ減ってはきていますけども、何となくこういうようなことで、勇気づけられて、こどもの数が増えて将来に向かって明るくなるんじゃないかなって、そんなような感じがしております。あと、計画に終わらずにそれを達成する実行するといったところに移っていただければ、全員一丸でそう

いうふうにはやっていたらいいなと感じました。

(事務局長沼) 先ほど三浦委員からご指摘いただきました11ページの、令和1年なのか、元年なのかという表記につきましては、令和元年の表記に修正をさせていただきます。大変申し訳ありませんでした。

(稲葉会長) ありがとうございます。

(事務局高橋) これを作った膨大な量、色々なジャンルが入っているんですけども、作っただけじゃなくて、やっぱり進捗状況や評価、こういう子ども・子育て会議がございますので、この計画は7年度からスタートしますので、またその1年後の8年度には、この子ども計画を1年ごとにまた進捗状況の点検などしたいと思っております。

(稲葉会長) ちゃんと年をおって確認していただけるということですね。鈴木先生、いかがでしょうか。

(鈴木委員) これって、どのくらいのところに渡るのでしょうか。

(事務局高橋) 本編の製本としては200なので、基本的には子育て世代に配るというよりは、関係する団体とかにお配りする。広報やWebでお知らせして、ホームページから計画を見ていただくというふうになります。

(鈴木委員) こども版という発想はいいなと思ったけれども、なかなかそれを実現できているところはあんまりたくさんないのかなと思うので、とつてもこれはいいなと思います。こどもたちの目標にもあるように、意見表明や権利ということを大事にしようと言っていることの本当に裏付けになるかなど。予算があれば、みんな作るというです。もう少し広く手に渡るように、ただ今の子はどこかでこうきっかけがあればWebで見るという発想はあるかなと思うので、紙媒体がどのぐらいの力をもつかわかりませんが、いい発想だなと思っていました。本当に大変膨大なデータに基づいて策定された計画ですので、実際に施行の段階で試行錯誤はあるだろうと思いますけども、そういうことを、また、広く公表していくことで市民の声を拾いあげることができるかなと思います。今日のニュースにあった、こども家庭庁が元年から10億もかけてAIによる虐待のチェックリストというか拾うのを作る、だけど今日断念したというか、精度が増さないというか、10億かけたらいいんですけど。AIで材料を作ってしまったものも、聞くとびったりするのが6割以下、というか4割程度しかやっぱり拾えないというか、だから何が起きているのかなという、やっぱりすごい個別性の高い問題、こどもの問題っていうのは、「こどもまんなか」というふうにこども家庭庁は言っているんですけど、真ん中に置けば置くほど多様性が増してくるということなんだろうなという。つまり、膨大な何万のデータの中から拾って整理しても、実際にはすごい危険性が高いにもかかわらず、「いや、高くない」というふうな表現になっちゃうということのようで、本当にこう深いところがあるんだなと思います。実際に、遂行して、時にはちょっとそういう問題を無視せずに向かい合ってやっていくと、良い結果が実現できるといいなと思います。応援したいと思いますし、このように明るい感じになっているといいなというふうに思います。

(宇野委員) すみません。4章の施策の展開のところからの表のところ、どこでもいいんですけど、例えば64ページ65ページを見ると、9番の内容がマークだけ右のほうにいて

しまったり、88ページは、児童発達支援センターで終わって、右の方に「事業」というマークがついていたりとか、こういうところをもう少し直せると見映えが良くなるかなと思いましたが、ぜひまたご検討ください。

(事務局長沼) すみません。最終的な誤字脱字等も含めまして、段落だとか、先ほど三浦委員にご指摘いただきました部分、もう少し見やすさっていうところも確認をさせていただいて、冊子を発行していきたいと思えます。ありがとうございます。

(稲葉会長) 貴重なご意見をありがとうございます。今、いただきましたご意見のように、ここをこうすると見やすいかないということや、ここの内容をもう少し教えてほしい、ということがもしありましたら、ぜひ、こちらが最終になりますのでご意見いただけますと良いかなと思えます。

(榎田委員) こども版の小中学生向け、これは小学校1年生からも配る予定ですか？グラフを見たときに両方ともカラーの方が小学校低学年の子が見たときに分かりやすいかないと思えました。あと、裏表紙の「こんなことに取り組みます！」の目標2番のふりがなが「わかもの」ではなく「こそだて」ではないでしょうか？

(事務局長沼) 申し訳ありません。修正いたします。

(事務局高橋) こども概要版は児童館とかに置かさせていただきます。

(榎田委員) わかりました。

(稲葉委員) ありがとうございます。色々な方に見ていただくと、さらに計画が見やすく、そしてわかりやすく、手に取っていただきやすくなると思えます。山本委員、いかがでしょうか？お気づきの点などありますか？

(山本委員) 実際にこの計画を見させていただいて、今まで色々な課でやっていたものをちゃんとこう話し合っ、合わせて作っていただいたんだなあと思っ、まず、この場に私を呼んでいただいているのもそういったことの意味なんだろうと思っ、改めて今までそれぞれの部署部署で考えられていたものが本当にこうやって合わさっていくんだなっていうのを実感いたしました。

(稲葉会長) こういうふうにご覧いただくと、ここまで色々な皆様のご意見があっ、こういう計画ができてきたと思えます。皆様のご意見が色々な形で反映されて、それが子育てに、またこども達の笑顔に繋がってけるといいなと本当に思っ、ありがとうございます。榎本委員、いかがでしょうか？

(榎本委員) こどもに寄り添う、こどもの意見を聞くということで、こちらの総合計画を見まして、こども達の意見を取り入れて計画されているので、これから自分の施設でもどんなことができるかというのを考えていきたいなと思えます。

(稲葉会長) 児童館にもこども版を置く予定ということですので、ぜひお子さんたちにも手にとって読んでいただいて、これってどういうことなの？という質問にまた答えていただけるといいなあと、お話ししていただけるといいなと思えます。ありがとうございます。

皆様からいただいたご意見やご指摘等を元に、またこちら事務局の方で修正また追記した内容で、この蒲郡市こども総合計画を確定していきたいと思っ、この内容で確定してもよろしいでしょうか。ご承認いただける方は、拍手をお願いできれば

と思います。

(拍手)

ありがとうございます。拍手多数でありますので、蒲郡市こども総合計画の内容を、この内容にて確定させていただきます。ありがとうございました。

それでは次に議題3の令和7年度蒲郡市特定教育・保育施設の利用定員について、事務局から説明をお願いいたします。

(3) 令和7年度蒲郡市特定教育・保育施設の利用定員について

(事務局 倉橋から説明)

質疑応答

(野村委員) 利用定員が令和6年度と比べるととかなり減っているんだなというのを感じました。

(事務局倉橋) こども総合計画、103ページにありますとおり、人口が減少しているのが大きな原因で、ただ、3号認定でも0・1・2歳児は、全てのお子さんが施設に入っているわけではありませんので、こちらは減ってるってところまではいかないんですけど。そうですね、3歳から5歳児の部分に関してはそれを反映した利用定員となっています。

(稲葉会長) 河合委員、いかがでしょうか？

(河合委員) 今、倉橋さんの方からお話がありましたように、幼児以上の人数は全国的にも減っているというのが明らかです。未満児の乳児と言われている0・1・2歳児の枠については、減少してるんですけども、利用児童というのは増えているってところで、その分保育士の数もたくさんいるってところが現状で、どちらの施設も本当に保育士さんを確保して、ご希望の利用者に対してちゃんとした保育を提供するということが、特に、今、難しいちょうど過渡期なんですね。これ乗り越えていくと、多分人口減少から保育園の園定員数というものも減ってくると思うのですが、実はその保育の質というものを求められたときに、今は本当に4歳5歳がようやく25対1になりました、保育士に対して25人、昨年度までは30人というのが普通でした。小学校でもね、ちょっと縮小してますけれども、年齢の低いこどもさんについても、できれば保育士1人に対して、こどもさんの数が小さくなることで、質を上げるということはもう確かなデータに基づいてますので、人口は減少してるんですけども、やはりこのこどもさんを預かってお母さんたちが働く、安心して働く環境をつくるには、まだまだしばらく、社会の中でも必要な施設なのかなと思います。なので幼稚園も、認定こども園も、保育所も力を合わせて蒲郡市内のこどもさんを健康に、安全な、確保した保育ができるように、努力していかなければならないなというふうに感じています。

(稲葉会長) 本当に色々な、今変わっていくときの中での、日々のご対応、大変難しい場合もたくさんあるかと思いますが、そういう皆様方が1つ1つ努力していただけることが、きっとこどもにとっても、保護者の方にとっても、そして保育園にとっても皆さんにとっていいバランスというか、居心地のいい環境かなと思いますので、どうぞ引き続きお願いいたします。

鈴木先生どうでしょうか？今の蒲郡市の状況等は？

(鈴木委員) 全国的にそうかなと思ってはいますが、もう本当におっしゃるように、ここから先、や

っぱり質、どこの市町村も前の計画のときは、ほとんどハード面だったり、物をつくるということが中心だったんですけれども、こどもの人数も減ってきて、そういうことではない質みたいなものにいきたいんですけど、保育士が足りないという状態が潜在的にいっぱいあると思うんですけど、なかなか乳児さんが増えるということは、完全に保育士の人数を増やさなきゃいけないという状態になるので、そのところが大変だなと。25対1にはなりましたが、本当に50年間変わっていない日本の制度で30対1をずっともう半世紀貫いてきて、どこまでいってもなので、もう少し社会が保育の質って何だろうということをやっぱりアピールしていかないと、今の時代、不適切保育みたいなことだけが騒がれますけど、本当に先生たちは苦勞してこどもに寄り添ってやっておられることを、もう少しわかるといいなと。預けるということではない、保育の質みたいなものが大事だなと思いますので、こどもはどうしても減ってしまうのじゃないけれども、人数の先にある質を考えていけるといいなと思います。でも、計画を見てわかるように熱心にやっておられるので、それを社会にどうやったら伝わるかというのを思います。

(事務局高橋) やっぱり低年齢はまだまだ利用希望が多いので、人もいるということで、保育士の確保はやっていかなくてもはいけませんけれども、新しい基準への対応というのも蒲郡市は全部をできているわけじゃない。ただ、来年度は4歳5歳については新しい基準でいけるといところまでできていますので、3歳はまだ新基準には対応できない。したがって、なるべく速やかに新しい基準にも対応していきたいなと思います。

(稲葉会長) ありがとうございます。他にいかがでしょうか。ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。それでは、ご意見もないようですので、令和7年度蒲郡市特定教育・保育施設の利用定員について、ご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございます。令和7年度蒲郡市特定教育・保育施設の利用定員については承認されました。ありがとうございます。それでは本日の議題はこれですべて終了となります。委員の皆様、議事の円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございます。それでは議長の務めを終わらせていただきますので、この後の進行は事務局でお願いいたします。

(事務局長沼) 稲葉会長ありがとうございました。また委員の皆様、様々なご意見、ご提案をいただきましてありがとうございました。

蒲郡市子ども総合計画につきましては、3月末にですね、公表の方をさしていただきたいというふうに考えておりますのでご承知おきください。

委員の皆様には完成しました計画の冊子、概要版子ども版、それぞれを配布させていただきますので、また郵送にてお送りさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは最後に、事務連絡の方をさせていただきたいと思います。お配りしております、令和7年度、蒲郡市子ども・子育て会議の日程の資料をご用意ください。令和7年度の子ども・子育て会議の日程は、こちらに記載の日程で開催を予定しておりますので、

皆様におかれましてはご予定にいられたいただきたいと思います。なお、現時点での日程は予定というふうになっておりますので、変更になる可能性もありますので、その点をご承知おきいただければと思います。

また来年度ですね、委員の変更予定がある団体の方におかれましては、後任の方にこの日程や会議の内容等を可能な範囲で構いませんので、引き継ぎ等をしていただければと思いますので、そちらも合わせてよろしく願いいたします。事務連絡の方は以上となりますが、何か皆様からご連絡等がありましたら、お願いしたいと思います。

(鳥山委員)

すいません。蒲郡市社会福祉協議会の事務局長をしております、鳥山と言います。お時間いただきまして申し訳ありません。

昨日ですね、第42回福祉まつりということで、無事私ども主催の方でやらせていただいて終了しましたが、ここにいる皆様の中で、特に子育てコンシェルジュさんとか、子育て支援課さんとか、福祉課の皆さんとか、色々な方にご協力いただきまして誠にありがとうございました。昨日の感想を、報告書や資料がなくて申し訳ないんですけど、感想としては市民の方で親子連れが多かったなというのが、私の感想であります。こどもさんをいっぱい連れてきて、福祉のことを知っていただくところの、ブースを色々回っていただいて、知っていただけたかなと思っております。あとですね、フードドライブというのを今年度初めてやらせていただいたんですけど、そちらの方にもですね、2月の1ヶ月間と昨日の1日の分ですね、うちの社会福祉協議会の勤労福祉会館で、ちょっと分からないかもしれないんですけど、そこの大研修室の舞台上にちょっと並べてみたら、そこが全部埋まるぐらいには結構集まったので、一人一人の市民の方のご好意をいただいて、これをまたこども食堂さんとか、ちょっと生活にお困りの方とかですね、色々なところで配分していきたいなと思っております。フードドライブにつきましては、こども食堂とも関係しているところではありますが、こども食堂の方ですね、昨日少しお話があったところでは、こども食堂だけでなくそこに付随して学習支援みたいなものをやれるといいのかなっていうことは、社会福祉協議会も少し考えておりますので、またその際には、皆様のご協力をお願いすることもあります。昨日は、色々ご協力いただいた方も多いと思いますが、ありがとうございました。以上になります。

(事務局長沼)

ありがとうございました。その他何かご連絡がある方はお願いいたします。

それでは、以上をもちまして令和6年度第5回蒲郡市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。令和6年度の子ども・子育て会議は本日を最終日とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

以上